

福島市では、男女共に働きやすい職場環境づくりなどを積極的に行う中小企業を認証しています。
このコーナーでは、認証企業にスポットをあて、その取り組みをご紹介します。

福島市働く女性応援認証企業 ファイル (Vol.1)



クローズアップ 女性社員に聞きました！

🍷 仕事内容は？

注文いただいた商品の手配、電話対応、書類作成をおこなっています。

🍷 リンペイの魅力は？

若手社員の意見を大事にしてくれるところ です。社内の雰囲気も明るく楽しい職場で、お 子 さまを持つ女性社員への配慮が整っています。

また、産休・育休後の周りのサポートも厚 く、安心して復帰することができます。

🍷 今後の目標は？

会社にとってもお客さまにとっても良い影響を与えられるよう な 人になれるよう今後も努力していきたいです。



入社4年目
業務課所属
中木 姫華さん

【会社概要】

所 在 地：福島市方木田
代 表 者：代表取締役 高橋 正樹

設 立：昭和36年6月

資 本 金：4,500万円

社 員 数：143人

業務内容：塗料、塗装資材、化成品等販売、塗料調色、区画線工事、改修工事

関連会社：株式会社テクノロード

福島メラミン塗装株式会社

有限会社東日本メンテナンス

連 絡 先：☎545-3511(本社 総務部)



■問／産業雇用政策課 ☎515-7746

主に塗料や塗装に関係する資材販売、塗料の調色、区画線施工、交通安全施設の設置をしています。
林平商店から始まり、従業員も今では143人と増え、女性社員も44人と約3分の1を占めています。
近年では社員の健康維持の為に毎朝ラジオ体操や血圧の測定、健康セミナーを実施しています。
また、お子さまを持つ社員も増えたことから、育児関連の規定を充実化致しました。今後も子育て世代の社員はもちろん、全社員が働きやすい職場づくりを心掛けていきたいと思っています。

女性も安心して
長く勤め続けられる会社です！

株式会社リンペイ



We Love♥ ふくしま！

第38回『こどもの笑顔あふれる福島市に』

福島市の待機児童が、本年4月、ようやくゼロとなりました。

私の市長就任時(平成29年12月)は、県下最多の250名。その後も共働きの増加、幼児教育・保育の無償化により、子どもの数は減っても保育ニーズは高まるばかりでしたが、官民連携して待機児童対策推進パッケージを推進し、保育枠の拡大と保育士確保に努めた結果、ようやく待機ゼロを達成しました。

しかしまだ、希望の保育所に入れないなど潜在的な待機があります。待機児童は、地域の将来人口の動向に大きな影響を与えるほか、事業所の人材確保にも関わる大きな社会問題です。今後も気を緩めず、潜在的な待機解消も目指して取り組んでまいります。

小中学校では、この春一人一台タブレットによる福島型オンライン授業を開始。机と椅子は今夏までに一斉更新し、年内にはトイレの洋式化を4年前の20%程度から80%以上に整備するなど、急ピッチで子どもたちの環境整備を進めています。

ただ、「子育てと教育なら福島市」を目指すには、スタートラインに立てたにすぎません。

昨年度から、自然を生かした教育、英語やICT、スポーツなどに重点を置いた教育など特色ある幼児教育・保育を推進しています。また、今年度から東北初の幼稚園送迎ステーション事業を開始。これを活用すれば、朝夕は送迎ステーションの保育所で預かってもらい、日中は送迎バスで幼稚園に行き、特色ある教育を受けさせるということも可能です。

今後も、多様な選択肢の提供、質の向上、負担軽減など子ども・子育ての新ステージをつくってまいります。

私としては、行政施策以上に、地域全体が子どもたちを大切にし、健やかな成長を応援する地域社会をつくるのが、今後は大切だと思います。登下校の交通安全や防犯に多数の市民が献身的に活動されている一方で、うるさい子どもをはねつける方もいるのは大変残念です。

周囲への一定の配慮が保護者などには必要ですが、わがままな子ども時代は大人なら誰もが迎ってきた道。昔は、子どもが多く、ゲーム機器もない分、今より騒々しかったと思います。

子どもが少ない社会は、本当に寂しいですし、未来が開けません。子どもたちには寛容でありたい。子どもたちにやさしい社会は、高齢者や障がい者にもやさしい共生社会につながります。

福島市は、「子どものえがお条例」(案)を市議会6月定例会議に提出します。地域みんなで子どもたちの笑顔あふれる社会をつくっていききたいものです。

福島市長 木幡 浩